

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和3年12月

事業所名：かしのき学園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や玩具を定期的に見直し、入れ替えをしている。</li> <li>・コロナの関係があり、例年以上に人数を制限しながら、広く使えるよう配慮している</li> </ul>	14	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走る時や人数の多い時は職員が誘導して安全に過ごせるようにする。</li> </ul>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は経験年数に応じて配置している。</li> <li>・管理的立場の者は、必要に応じ指導室に入り職員の指導等を行う。</li> <li>・研修は他団体への派遣研修、事業者主催研修、自主研修の奨励、研修内容は職員間で共有</li> </ul>	13	1		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は国の規定数より多く配置している。</li> <li>・今年度より講師を招いて、療育視察・職員の園内研修を行い、職員育成に取り組んでいる。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導室内、トイレや手洗い場など必要に応じ写真・カードなどを掲示している</li> </ul>	16			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取り組んでいく。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日降園後、玩具や手が触れる場所は消毒を徹底している</li> <li>・子どもたちや職員はこまめな手洗い、うがい</li> <li>・手指消毒を行っている</li> </ul>	17				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防対策も含めて、継続的に取り組んでいく。</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・定期的に会議を行い、職員間で意見を出し合って振り返りを行っている。	/				・継続して取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施していない。	/				・時期をみて実施したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・各種研修の情報を取得し、受講の促進と受講のための環境の整備をおこなっている。	/				・適宜、研修に参加している。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	・児童発達支援管理責任者を中心に、職員間で話し合い、その内容を元に作成している	14	1		2	・継続して年2回、目標・達成度・次課題など個々に応じた作成を行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画の作成	・子どもの特性等を見極め、効果的な支援を実施している。	/				・継続して取り組んでいく。
	3 児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・児童発達支援管理責任者と保護者が話し合い、子どもの課題を抽出し、支援目標、達成時期などを内容とした計画を作成している。	14			3	・継続して取り組んでいく。
	4 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	・子ども一人ひとりの支援目標、到達時期等職員全員で共有し、定期的にモニタリングを行い、保護者にその進捗状況を説明している。	13			4	・継続して取り組んでいく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・クラスごとに月や週の計画を話し合い、立案している。	/				・継続して取り組んでいく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	/				・連絡ノート・個人懇談・親子通園を通して、又は必要に応じて電話にて対応を行う。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14			3	・継続して取り組んでいく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	/				・継続して取り組んでいく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	/				・継続して取り組んでいく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	/				・個人記録した内容を支援を行う中で活かしていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	/				・継続して取り組んでいく。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参加	/				・継続して取り組んでいく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係行政機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・必要に応じて、適宜引継ぎを行っている。					・継続して取り組んでいく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・必要に応じ連携する。研修についても受講するようにしている。					・継続して取り組んでいく。
	7 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナの関係で難しい面もあるが、朝の園庭で少し交流するなどの場もっている	8	2	1	6	・園庭遊びでの関りや季節の遊びや行事など、かしの木こども園の園児と一緒にする機会を増やしていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・運動会などの行事に地域の老人会や自治会の方に参加を呼び掛けている。					・行事など案内を出している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
保護者への説明等	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1		1	・入園の前に説明会や契約日で引き続き説明をしていく。 ・丁寧に説明して頂きました。
	2	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15			2	・継続して取り組んでいく。 ・懇談会では現状を踏まえて説明して頂いています。
	3	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	3		3	・親子通園や個人懇談の機会に勉強会や意見交換など行い、保護者の相談にも応じている。 ・連絡ノートにも困ったことを書くアドバイスを書いて頂いてる ・親子通園もある月とない月がありますが、行ったときは子どもの普段の様子を聞けたり、相談があればしています。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	16	1			・引き続き、連絡ノート・懇談会の場や親子通園で説明して、話し合う。 ・連絡ノートを見るのが楽しみです。 ・普段の内容などは連絡ノートで見れていて分かりやすいです。
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15		1	1	・親子通園や個人懇談の機会に相談に応じており、要望があれば個別相談に応じている。 ・連絡ノートにアドバイスを頂いたりしています。 ・懇談会や必要であれば電話でも相談に応じて頂いています。
	6	親子通園等の場において、保護者同士の連携に支援されているか	10	4	1	2	・緊急事態宣言中は開催していませんでしたが、親子通園で保護者の意見や相談を聞く場を設けている。 ・今年入園した為コロナで仕方ないですが、入園児の親子通園以来他の保護者の方には会っていません。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			6	・継続して取り組んでいく。 ・苦情窓口があるので何かあればこちらに連絡します。
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				・親子通園や連絡ノート、「かしのき学園だより」で情報の提供や共有を行っている。 ・親子通園や連絡ノート、「かしのき学園だより」での情報の提供の他に、バスの登降園でも声かけを行っている。 ・バスの送り迎えの時に何かある時は一声かけて頂いています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	・社会福祉法人樫の木会のホームページに情報等を掲載。施設待合室の掲示板に随時必要な情報を掲示している ・適宜、学園だよりや手紙等でお知らせしてる。	16			1	・社会福祉法人樫の木会のホームページに情報等を掲載。施設待合室の掲示板に随時必要な情報を掲示している ・適宜、学園だよりや手紙等でお知らせしてる。
	個人情報の取扱いに十分注意されているか	・個人情報取扱規定に基づき、秘密の保持に努めている。	16			1	・個人情報取扱規定に基づき、秘密の保持に努めている。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・入園説明会で説明し、協力をお願いしている ・変更等の場合は、その都度新しい情報を提供する。	17				・説明してもらいました。 ・継続して取り組んでいく。
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・定期的に行い、職員間で反省し次回に活かしながら取り組んでいる	14	1		1	・月に1回避難訓練を必ず実施している。 又、災害に備えての備蓄もしている。 ・毎月避難訓練をされているイメージです。 ・訓練を定期的に行っているの子どもにも良い経験勉強だと思えます。
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・各種団体が実施するする研修会への受講や職場会議で討議を行っている。					・継続して取り組んでいく。
	4 やむを得ず身体的拘束を行う場合における組織的な決定と子どもや保護者に事前に十分に説明、了承を得たうえでの児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体的拘束は行わない。					・継続して取り組んでいく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者から情報を得て、医師の指示書に従い適切に対応している。					・継続して取り組んでいく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・毎日、職場会議で、ヒヤリとすることがあれば話し合い、防止策などを含めて記録する。					・継続して取り組んでいく。